

# 福祉の輪を広げたい

第16号 2011年7月発行

**特集**

東日本大震災

☐ 未曾有の災害に立ち向かおう ☐

この度の東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様とご家族の皆様に対して心からお見舞い申し上げます。1日も早い被災地域の復興と共に、被災された皆様の生活が平穏に戻ることができますよう心よりお祈り申し上げます。

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波及びその後の余震によって引き起こされた東日本大震災は、6月1日時点で死者・行方不明者は2万人以上、建築物の全壊・半壊は合わせて17万戸。多くの避難者を出すと共に、今でも東京電力福島第一原子力発電所では大量の放射性物質の放出を止めることができず国内は大混乱に陥っています。

私共の法人の各施設では厨房の食器が破損した程度で人的被害や建物の損傷はありませんでしたが、計画停電への対応やガソリン不足による職員の通勤手段確保等に苦労がありました。特に入所施設は365日24時間休みがありませんので早番や遅番、夜勤等の対応によく頑張ってくれました。

4ヶ月以上が経過した今、法人や各職員はできることを考え、行動に移しています。被災地から求められるボランティア派遣には5月以降、すでに3名の職員が各一週間程度、被災地の障害者支援に出向いてくれましたし、つくしの利用者さんたちは緊急にチャリティバザーを実施し、10万円以上の売り上げ全額を被災地に寄付してくれました。

今後も出来る限りの支援や応援に努めていきたいと考えています。  
(理事長 岩崎尊之)



つくし  
市民朝市で緊急チャリティバザー



ナイス  
ガソリン不足：居宅介護は自転車です



ふたば保育園では計画停電に対応するため、早めのお迎え等で保護者の皆様にもご協力いただきました。

ふたば保育園

第16号の内容

**特集** 東日本大震災 ..... 1

NEWS ..... 2・3

ピックアップ ..... 4・5

もろさんが行く ..... 6・7

各施設の紹介 ..... 8



みどり園

玄関の募金箱



みどり園

清川ホーム

被災地の障害者避難所からの応援要請に応じてボランティア参加